

23.9.13

みなみ 魚つかみ捕り 園児楽しむ



綾町漁業協同組合（増田正
範組合長）は南俣保育所（高
松千尋所長、57人）で7日、
アユのつかみ捕り会を開い
た。

プールに入った園児は、生
きのいいアユに大興奮。1人
で何匹も捕まえる子もいれ
ば、中にはアユが怖くて泣い
てしまう子の姿もあった。捕
まえたアユはその場で炭火焼
きにし、写真、園児たちは
「いいにおい」と笑顔でアユ
を味わっていた。

同組合は北俣保育所、中坪
保育所でも6
日までにアユ
のつかみ捕り
会を開いた。

増田組合長は
「子どもたちは
いい表情だ
った。アユが
すむ川を大事
にする心が育

「アユ」と話していた。

9/13

五十鈴川漁協 稚ガニを放流



五十鈴川漁業協同組合（松
村博澄組合長、正組合員17
9人）は、門川町や美郷町北

郷区を流れる五十鈴川やその
支流の6地点でこのほど、モ
クスガニの稚ガニ45匹を放流
した。写真。

資源保護を目的に毎年実施
している。稚ガニは県内で捕
れた天然もので、組合員たち
が手分けして放流。この日は
水量も十分だったため、放さ
れた稚ガニはすみかを求めて
清流の中に一目散に潜ってい
った。

モクスガニは名物「ガニ豆
腐汁」の材料として、地域住
民らに親しまれている。同漁
協では、河川清掃や違法漁法
の取り締まりにも力を入れて
いる。松村組合長は「資源保
護のため、川を濁さないよう
意識の啓発も行っている。い
い」と話していた。